

最新市場調査資料

---

---

**2025年版**

**2050年における自動車産業予測**

---

---

総合技研株式会社

目 次

<b>I. 自動車産業を取り巻く環境</b> .....	( 1 )
1. 経済 .....	( 1 )
2. 世界各国のGDP推移 (2050年予測) .....	( 2 )
3. 産業構造 .....	( 3 )
4. 人口構成 .....	( 4 )
〔日本の総人口推移〕 .....	( 4 )
〔日本の年齢3区分別人口推移〕 .....	( 4 )
〔日本の人口ピラミッド〕 .....	( 5 )
〔世界人口の推移〕 .....	( 6 )
5. ライフスタイル .....	( 7 )
6. 交通及び道路計画 .....	( 11 )
7. エネルギーの現状と将来動向 .....	( 11 )
8. 電源構成の見直しについて .....	( 12 )
<b>II. 自動車の2050年の需要予測</b> .....	( 1 )
1. 概要 .....	( 1 )
2. 自動車生産台数の現状と予測 .....	( 2 )
(1) 2006年以降の日本の自動車生産台数推移 .....	( 2 )
(2) 会社別生産実績 (2023年1~10月及び2024年1~10月) .....	( 3 )
(3) 日本の自動車生産台数予測 (2050年予測) .....	( 4 )
(4) 世界の自動車生産台数予測 (2050年予測) .....	( 5 )
①全体 .....	( 5 )
②地域別 .....	( 6 )
3. 日本, 米国, 欧州, アジア等の自動車市場 .....	( 7 )
(1) 日本の自動車市場 .....	( 7 )
①日本の2001年以降の自動車販売台数推移 .....	( 7 )
②日本の自動車販売台数予測 (2050年予測) .....	( 8 )
(2) 米国, 欧州, アジア (日本含む) 等の自動車市場 (2050年予測) .....	( 9 )
4. 日本の自動車輸出台数の現状と予測 .....	( 16 )
(1) 2001年以降の日本の自動車輸出台数推移 .....	( 16 )
(2) 日本の仕向地別, 車種別自動車輸出台数 (2022年, 2023年, 2024年) .....	( 17 )
<仕向地別 (2022年, 2023年, 2024年)> .....	( 17 )
<月別の仕向地別輸出実績(2023年1~10月及び2024年1~10月)> .....	( 18 )
<車種別 (2022年, 2023年, 2024年)> .....	( 19 )
<カーメーカー別 (2024年10月)> .....	( 19 )
(3) 日本の自動車輸出台数予測 (2050年予測) .....	( 20 )
(4) 日本の仕向地別自動車輸出台数予測 (2050年予測) .....	( 21 )
(5) 日本の車種別自動車輸出台数予測 (2050年予測) .....	( 22 )
5. 自動車保有台数予測 (2050年予測) .....	( 23 )
(1) 2006年以降の日本の自動車保有台数推移 .....	( 23 )
(2) 日本の自動車保有台数予測 (2050年予測) .....	( 24 )
(3) 世界主要国の自動車保有台数予測 (2050年予測) .....	( 25 )
6. 車両構成2050年予測 .....	( 26 )
(1) カテゴリー別需要予測 .....	( 26 )
1) 自動車のカテゴリー .....	( 26 )
2) カテゴリー別販売台数 (2022年, 2023年, 2024年) .....	( 28 )
3) カテゴリー別需要予測 (2050年予測) .....	( 31 )
(2) 各装備予測 .....	( 36 )
1) 装着率予測 (国内生産台数ベース) .....	( 36 )
①MT②AT (CVTを除く) ③CVT .....	( 36 )

④AMT⑤DCT⑥電子制御サスペンション	( 37)
⑦ABS⑧サイド&カーテンシールドエアバッグ⑨ソナー	( 38)
⑩オートエアコン⑪クルーズコントロール⑫キーレスエントリー	( 39)
⑬カーナビゲーション⑭パワーシート⑮センシングカメラ	( 40)
⑯電動パワステ⑰電子制御パワステ(油圧式)⑱車間距離レーダー	( 41)
⑲パワーウィンド⑳パワードアロック㉑ディスチャージヘッドランプ	( 42)
㉒LEDヘッドランプ㉓パワースライドドア㉔パワーバックドア	( 43)
7. カーメーカーの動向, 展開	( 44)
(1) 日, 米, 欧競争力比較	( 44)
1) 日, 米, 欧の主要カーメーカーの比較	( 44)
2) 日, 米, 欧の生産台数比較	( 45)
3) 日, 米, 欧のブランド別シェア	( 46)
①日本市場(2022年, 2023年, 2024年)	( 46)
②日本市場(2050年予測)	( 47)
③米国市場(2021年, 2022年, 2023年)	( 48)
④米国市場(2050年予測)	( 49)
⑤欧州市場(2020年, 2021年, 2022年)	( 50)
⑥欧州市場(2050年予測)	( 51)
4) 主要装備(レーダーセンサー, レインセンサー)の装着率比較	( 52)
(2) 自動車産業のグローバル化・再編成の方向性	( 54)
1) グローバル化	( 54)
①日本カーメーカーの海外生産台数の推移(全体実績)	( 54)
②会社別海外生産実績(2023年1~10月及び2024年1~10月)	( 55)
③日本カーメーカーの海外生産台数予測(2050年予測)	( 56)
④日本カーメーカーの地域別海外生産台数予測(2050年予測)	( 57)
2) 再編成	( 58)
①トヨタ	( 58)
②日産	( 59)
③三菱自動車	( 60)
④マツダ	( 61)
⑤ホンダ	( 61)
⑥SUBARU	( 62)
(3) 世界戦略車について	( 63)
1) 主要カーメーカーにおける主な世界戦略車	( 63)
2) 各カーメーカーにおける動向	( 64)
3) 世界戦略車の2050年に向けての方向性	( 72)
(4) 各カーメーカーにおける2050年に向けての考え方	( 73)
1) まとめ	( 73)
2) 各カーメーカーの取り組み状況	( 74)
8. 技術革新	( 99)
(1) 自動車を取り巻く2025~2050年までの技術革新	( 99)
(2) カーエレクトロニクスの動向	(101)
1) 全体市場規模推移	(101)
2) 分野別市場規模推移	(103)
3) 技術動向	(104)
(3) ハイブリッド車, プラグインハイブリッド車, 電気自動車, 燃料電池車等の 電動化車両の市場予測(2050年予測)	(120)
1) 電動化車両の生産台数推移(2050年予測)	(120)
2) 全生産台数に占める電動化車両の割合(2050年予測)	(121)
3) 全生産台数に占める各電動化車両の割合(2050年予測)	(122)
4) 各部品メーカーにおける取り扱いハイブリッド車用部品一覧表	(123)
5) ハイブリッド車のカーメーカー別生産台数(2021年, 2022年, 2023年)	(125)
6) ハイブリッド車のカーメーカー別シェア(2021年, 2022年, 2023年)	(126)
7) HV, PHVの国内生産台数予測(2050年予測)	(127)

8)	主要ハイブリッド車用部品における納入マトリックス	(128)
9)	ハイブリッド車用部品における技術動向	(135)
10)	各部品メーカーにおける取り扱いEV用部品一覧表	(142)
11)	電気自動車の国内生産台数予測(2050年予測)	(144)
12)	EV, PHVのグローバル動向	(145)
①	EV, PHVのグローバル生産台数推移(2050年予測)	(145)
②	EV, PHVの地域別グローバル生産台数推移(2050年予測)	(146)
③	EV, PHVのグローバル生産台数に占める比率(2050年予測)	(148)
④	グローバルにおける内燃機関別生産台数比率(2050年予測)	(149)
⑤	主要国内, 海外カーメーカーにおけるEV戦略	(150)
⑥	主要国におけるEV導入計画, 排出ガス規制の動向	(182)
⑦	電動化ロードマップ	(186)
13)	主要電気自動車用部品における納入マトリックス	(193)
14)	電気自動車用部品における技術動向	(198)
15)	電気自動車用充電スタンドについて	(203)
①	商品概要	(203)
②	タイプ別主要参入メーカー	(203)
③	タイプ別市場規模(設置台数2050年予測)	(203)
④	各メーカーにおける取り組み状況(取り扱いタイプ, 機種, 販売開始時期, 価格, 販売台数など)	(204)
16)	燃料電池車の動向	(211)
①	概要	(211)
②	参入メーカーの動向	(215)
③	市場規模推移(2050年予測)	(220)
④	燃料電池車用部品の技術動向	(221)
⑤	インフラの動向	(222)
⑥	燃料電池車の今後の見通し	(227)
(4)	自動運転システムの動向	(228)
1)	概要	(228)
2)	主要カーメーカーの動向	(229)
3)	自動運転システムの市場規模推移(2050年予測)	(236)
4)	2050年に向けての方向性	(237)
(5)	車載カメラシステム	(238)
1)	概要	(238)
2)	市場規模予測(2050年予測)	(239)
3)	今後の車載カメラシステムの搭載の方向性	(240)
9.	材料	(242)
(1)	アルミ化の動向	(242)
1)	自動車1台当たりのアルミニウム使用量推移(2050年予測)	(242)
2)	自動車におけるアルミニウムの使用部位	(242)
3)	各カーメーカーにおけるアルミニウムの採用状況	(242)
4)	各部品におけるアルミニウムの採用状況	(243)
(2)	マグネシウム化の動向	(246)
1)	自動車1台当たりのマグネシウム使用量推移(2050年予測)	(246)
2)	自動車におけるマグネシウムの使用部位	(246)
3)	各カーメーカーにおけるマグネシウムの採用状況	(246)
(3)	樹脂化の動向	(247)
1)	自動車におけるプラスチック材料の使用量推移(2050年予測)	(247)
2)	自動車における樹脂の使用部位	(247)
3)	各カーメーカーにおける樹脂の採用状況	(248)
4)	各部品における樹脂の採用状況	(249)
10.	空飛ぶクルマ	(251)
(1)	参入メーカー	(251)
(2)	商品概要	(252)
(3)	各メーカーにおける取り組み状況	(253)
11.	SDV化の動向	(257)

## 4. 人口構成

## 〔日本の総人口推移〕

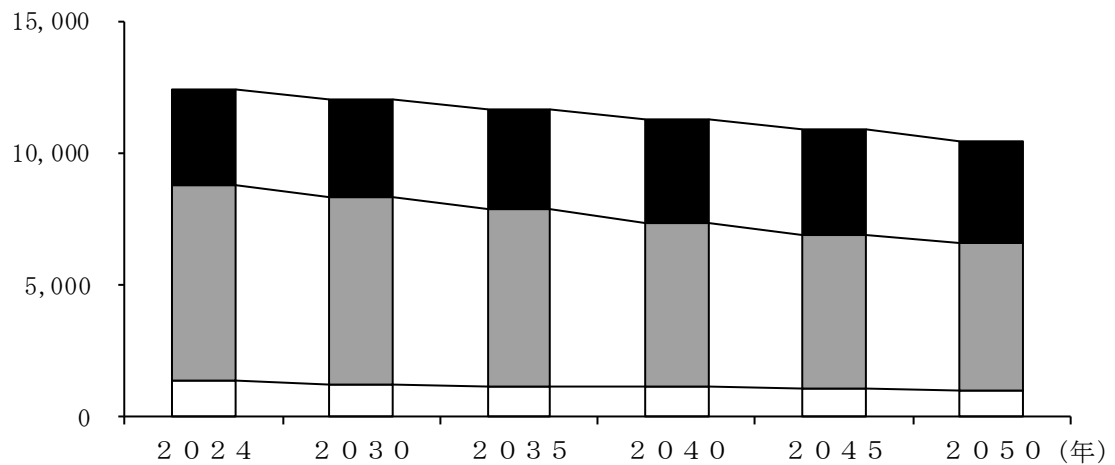
(単位：千人，%)

項目 \ 年	2024	2030	2035	2040	2045	2050
日本の総人口	123,850	120,116	116,639	112,837	108,801	104,686
伸長率	100.0	97.0	94.2	91.1	87.8	84.5

## 〔日本の年齢3区分別人口推移〕

(万人)

□ 0～14歳 ■ 15～64歳 ■ 65歳以上



(単位：千人，%)

項目 \ 年	2024	2030	2035	2040	2045	2050
0～14歳 (年少人口)	13,900 (11.2)	12,397 (10.3)	11,691 (10.0)	11,419 (10.1)	11,027 (10.1)	10,406 (9.9)
15～64歳 (生産年齢人口)	73,690 (59.5)	70,757 (58.9)	67,216 (57.6)	62,133 (55.1)	58,323 (53.6)	55,402 (52.9)
65歳以上 (老年人口)	36,260 (29.3)	36,962 (30.8)	37,732 (32.3)	39,285 (34.8)	39,451 (36.3)	38,878 (37.1)
合計	123,850 (100.0)	120,116 (100.0)	116,639 (100.0)	112,837 (100.0)	108,801 (100.0)	104,686 (100.0)

2024年における日本の総人口は、1億2,385万人であり、内訳は、15～64歳の生産年齢人口が7,369万人で59.5%、65歳以上の老年人口が3,626万人で29.3%、0～14歳の年少人口が1,390万人で11.2%となっている。

2050年では、年少人口9.9%、生産年齢人口52.9%、老年人口37.1%となる。

## 〔世界人口の推移〕

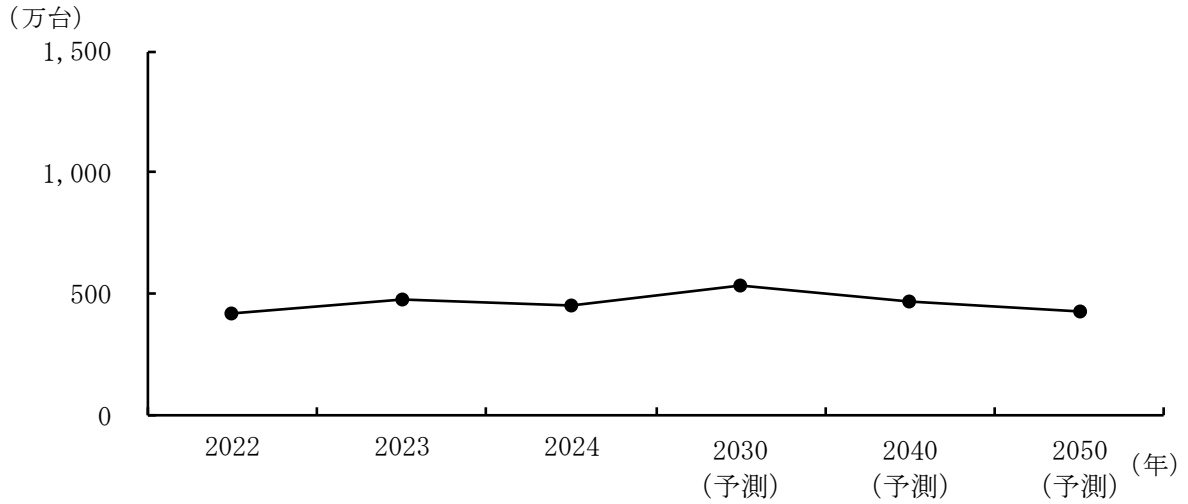
項目 \ 年	2023	2024	2025	2030	2035	2040	2045	2050
世界合計 (100万人)	8,045	8,119	8,192	8,546	8,879	9,188	9,468	9,709
アジア	4,753	4,785	4,816	4,959	5,079	5,176	5,249	5,293
北アメリカ	379	381	383	393	403	411	417	421
南アメリカ	665	670	675	698	717	732	743	749
ヨーロッパ	742	742	741	737	730	723	714	703
アフリカ	1,460	1,495	1,530	1,711	1,899	2,093	2,290	2,485
オセアニア	46	46	47	49	52	54	56	58
先進国 (%)	15.9	15.7	15.6	15.0	14.4	13.9	13.5	13.0
開発途上国 (%)	84.1	84.3	84.4	85.0	85.6	86.1	86.5	87.0

上記は世界人口の推移について表したものである。

2024年における世界人口は、81億1,900万人であり、世界人口は今後も増え続け、2040年で91億8,800万人、2050年で97億0,900万人と予測される。

先進国と開発途上国の比率は、2024年で15.7%：84.3%、2040年で13.9%：86.1%、2050年で13.0%：87.0%となっている。

②日本の自動車販売台数予測（2050年予測）

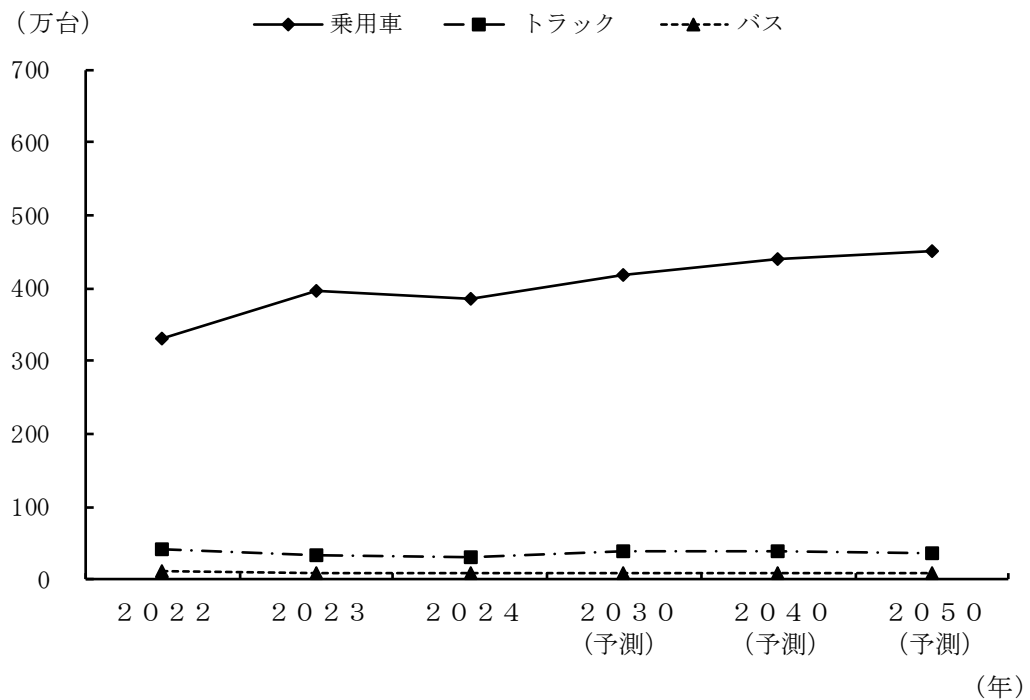


(単位：千台，%)

項目 \ 年	2022	2023	2024	2030 (予測)	2040 (予測)	2050 (予測)
日本の自動車販売台数	4,202	4,779	4,473	5,309	4,632	4,289
伸長率	100.0	113.7	106.4	126.3	110.2	102.1

- ・2024年における日本の自動車販売台数は4,473,000台（2024年1～11月の実績をベースに推計）であり、対前年比93.6%となっている。認証不正問題や新車投入の遅れにより買い控えが起きていることが減少の要因と考えられる。
- ・今後、2025年～2030年までは、緩やかな回復傾向が続くものの、2030年以降、日本の自動車販売台数は緩やかな減少傾向と予測され、少子高齢化の進展を背景とした日本の総人口の減少、平均車齢の高齢化などが要因である。
- ・各カーメーカーでは、今後も魅力ある商品を投入していくことにより、国内市場の活性化を図っていく方向としている。
- ・市場の先細りが確実な情勢の中、小型HVと軽自動車のシェア争いが激化していく方向となっている。

(5) 日本の車種別自動車輸出台数予測（2050年予測）



(単位：千台，%)

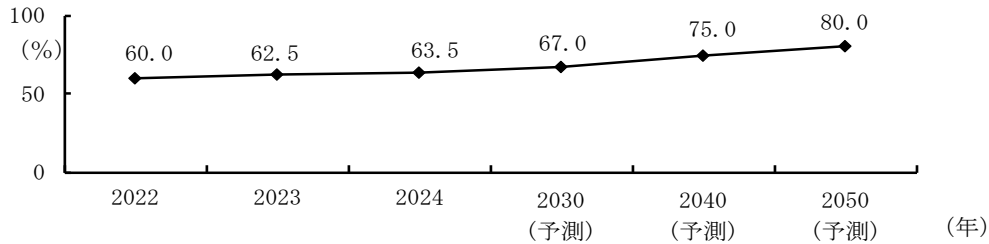
年 車種	2022	2023	2024	2030 (予測)	2040 (予測)	2050 (予測)
乗 用 車	3,321	3,978	3,847	4,189	4,407	4,513
ト ラ ッ ク	406	341	302	379	385	374
バ ス	86	103	99	80	88	94
合 計	3,813	4,422	4,248	4,648	4,880	4,981

- ・上記は、2022～2024年の車種別自動車輸出実績と2030年、2040年、2050年の車種別自動車輸出台数予測について表したものである。
- ・2024年実績で、乗用車が3,847千台で全体の90.6%を占めており、今後も日本の車種別自動車輸出台数は、乗用車中心の輸出と予測され、2050年では、4,513千台と、全体の90.6%の比率（2024年とほぼ同等の比率）と予測される。



## Ⅱ. 自動車の2050年の需要予測

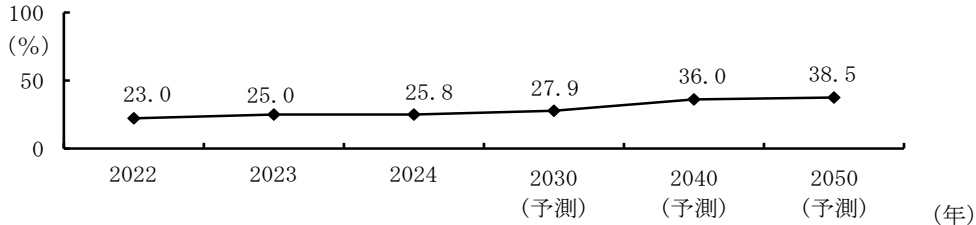
### ㉒ LEDヘッドランプ



項目 \ 年	2022	2023	2024	2030 (予測)	2040 (予測)	2050 (予測)
LEDヘッドランプ (千台)	4,701	5,624	5,257	6,395	6,860	7,142
装着率 (%)	60.0	62.5	63.5	67.0	75.0	80.0
国内生産台数 (千台)	7,835	8,999	8,279	9,545	9,147	8,928

- ・従来のLEDヘッドランプの装着車は、HV、PHV、EVなどの次世代エコカーでの採用が中心となっていたが、今後は小型車、軽自動車などのガソリン車での採用が更に進み、2050年では約80%の装着率と予測される。
- ・2021年9月から発売のスズキの新型軽自動車ワゴンRスマイルでは、LEDヘッドランプ（ハイロービーム、オートハイビーム機構付）がHYBRID Xに標準装備している。

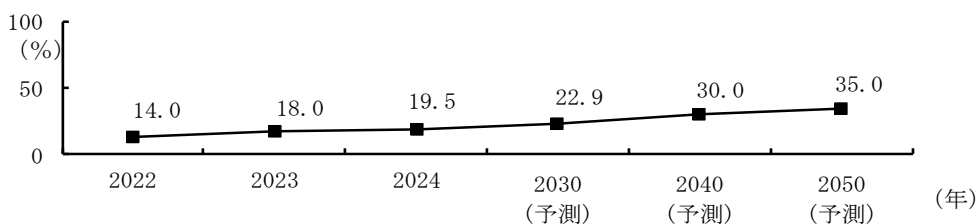
### ㉓ パワースライドドア



項目 \ 年	2022	2023	2024	2030 (予測)	2040 (予測)	2050 (予測)
パワースライドドア (千台)	1,802	2,250	2,136	2,663	3,293	3,437
装着率 (%)	23.0	25.0	25.8	27.9	36.0	38.5
国内生産台数 (千台)	7,835	8,999	8,279	9,545	9,147	8,928

- ・2024年におけるパワースライドドアの装着率は25.8%。2025年以降もミニバン、小型車、軽自動車を中心にパワースライドドアの装着率はアップの方向で推移し、2050年では約38～39%の装着率を予測。
- ・具体的な採用動向として、スズキでは、2021年9月10日より新型軽自動車のワゴンRスマイルを発売しており、マイルドハイブリッド車にパワースライドドアを標準装備している。

### ㉔ パワーバックドア



項目 \ 年	2022	2023	2024	2030 (予測)	2040 (予測)	2050 (予測)
パワーバックドア (千台)	1,097	1,620	1,614	2,186	2,744	3,125
装着率 (%)	14.0	18.0	19.5	22.9	30.0	35.0
国内生産台数 (千台)	7,835	8,999	8,279	9,545	9,147	8,928

- ・2024年におけるパワーバックドアの装着率は約19～20%。2025年以降も、ミニバン、SUVクラスでのパワーバックドアの装着率がアップし、2050年では約35%の装着率を予測。
- ・新規採用動向として、トヨタでは、2019年4月から発売の新型RAV4にハンズフリーパワーバックドアもしくはパワーバックドアを採用し、マツダでは、2019年10月から発売のCX-30にパワーリフトゲートを採用している。また、トヨタでは、2020年8月から発売のヤリスクロス、2021年9月より発売の加ラクロスにハンズフリーパワーバックドアを採用している。

禁 無 断 転 載

2025年版

2050年における自動車産業予測

価 格：132,000円（税込）

発刊日：2025年1月15日

発刊者：総合技研株式会社

自動車業界研究グループ

本 社：〒450-0003

名古屋市中村区名駅南1-28-19

名南クリヤマビル

TEL (052) 565-0935(代)

FAX (052) 565-0934

E-MAIL aam53300@nyc.odn.ne.jp